

9/1 週次

※8月31日現在、単位は人。感染者の多い5カ国（アフリカの主な国）内は死者数。米・ヨーロッパ・オセaniaの主な国。

世界の新型コロナウイルス感染者	
米国	3905万7665 (63万8715)
インド	3276万8880 (43万8560)
ブラジル	2075万2281 (57万9574)
フランス	683万4834 (11万4620)
ロシア	682万0697 (18万0009)
インドネシア	407万9267 (13万2491)
タイ	119万0063 (1万1399)
韓国	25万1421 (2285)
中国	10万7052 (4848)
オーストラリア	5万3851 (1008)
世界全体	2億1716万1713 (451万1238)

デルタ株と特徴共通

【ナイロビ＝共同】感染力が強くワクチンも効きにくい恐れのある新型コロナウイルスの新たな変異株を南アフリカの研究チームが三十一日までに発見した。既に南アを含む複数国で確認。どれほど危険な株かを把握するにはさうに検証が必要で、研究チームは詳細な分析を急ぐ。公表された論文によると、この株は五月に南アで発見。感染力や免疫を回避する能力に関する遺伝子の配列に変異が生じていた。南アで一月前後に猛威を振るった「ベータ株」とは別系統という。

南アで確認された新型コロナのうち、この株の割合は五月が0・2%、七月が2%と拡大傾向を示していた。八月十三日までに英国、中国、コンゴ（旧ザイール）、モーリシャス、ニュージーランド、ポルトガル、イスイスでも確認された。

遺伝子配列の情報だけでは実際の性質は断定できないが、変異の数が多いなど、インドで初めて確認され日本でも主流化した「デルタ株」と共通の特徴を持つという。ロイター通信によると、論文執筆者の一人は変異のパターンからの分析として、免疫を逃れる能力がデルタ株よりも高い可能性があると指摘した。

発見 南ア研究チーム

感染力強い新変異株か